

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	さくらの理念として、「心安らぐこの場所でのみんなの笑顔が、私達のしあわせ」を掲げている	○ 地域の方との交流を持ち、良きと利用者ひとり、ひとりが喜ぶような環境を提供したい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ひとり、ひとりが理念を心に刻み、日々の仕事に心がけている	○ ミーティング時など、理念に対する思いを話し合っている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	独自の理念を家族や地域の方にあらためて話しきっている	○ 家族の方には、さくら便りに載せたり、地域の方には、予約推進会議で話しきっている
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人には、気軽にあいさつを繰り返している。 何かあれば、相談もしている	○ 一定の方とのつきあいのための、お礼の幅を広げたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	大かぶか、こらからの参加は、難しさが、納涼祭などの行事は、声をかけ参加しているようにしている。	○ 参加が可能な利用者には、小・中学校の運動会などの参加してみたいと考える。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今の所は、地域の高齢者の方 に対しての話し合いは、していない	○	まずは、近隣の高齢者の把握 から、始めたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	注意、意見など、言われたことは、 すぐに実行に移している。 ミーティングなど定期的に話し合う。	○	ミーティングなど、積極的に取りもち、 利用者も楽しく、毎日、を過ごせる よう、努力したい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を設置し、 取り組んでいるが、まだ2回の開催 である。	○	なるべく定期的に開催し、構成 委員の方と、意見を交換していきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ほかほか推進会議以外に、東 町、村に訪問する機会がない。	○	密に、市役所、などへ訪問し、 近況報告など話して来たい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるように支援している	地域権利擁護事業や成年 後見制度についての知識が乏し い為、資料を作成し、勉強会を行 う。	○	職員が資料をもとに勉強し、 利用者へ支援できるようにしたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習会などに参加し、勉強し、 他の職員にも伝える。	○	職員どうしのミーティングを取り とらえて話し合う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレットや、調査表などで見てもらい説明をする		契約、解約の際は、家族に説明し、十分に納得の上で、入所して頂いている。
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が職員と、なんでも話せるように、人と、コミュニケーションを取っている。	○	なかなか、不満や苦情は、言えなかったりする。無記名でのアンケートで、意見を聞くようにしている。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	管理者が定期的に家族に連絡を取っている	○	訪問時又は、電話での報告が主に行っている。定期的に、便りなどは、報告したい。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートを取り、家族の意見を記入してもらう。	○	不満などはある時は、ミテイングを開き、その問題点について話し合っている。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミテイングで職員の意見反映をとり、その都度、問題点は話し合える環境を作っている。	○	月一度のミテイングは、常に実行している。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員に無理のないよう、ローテーションを組み、いつまでも対応できる人数の確保、勤務できるようにしている。		宿直から夜勤体制に変更、大為のユニットを2人の夜勤者に対応している。夜間には、不安な所もある。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	検入大は残り、利用者が迷惑し ないよう、考えて異動している。 申し送りノートなど利用者に不安な なならないようしている。	○	目録より担当の職員以外では、 利用者とのコミュニケーションを取っ たり、利用者へ不安感をあてな いよう、心がけている。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講習会などに参加している	○	講習会を習ってきた、よいと思うこ は、ミタラダ、勉強会を通じて 職員に伝えるようにしたい
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連のグループホーム内での 交流は、あるが、他法人との 交流は、今の所はない	○	これから、近隣、又は、同市町村 のグループホームとの交流を考 えたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ミタラダや個人的に管理者や 他の職員と話を聞いてもらい ストレスを軽減している。	○	職場を離れて、食事会を設 けたりし、職員に心の余裕を 与えてあげたい
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員、個々の性格や、仕事への 思いを理解し、各自が、仕事への 熱意を持って働けるよう努め ている	○	色々研修に参加し、 勉強していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	職員に話しても大丈夫と安心感をもたせる。 気軽に話せる場をむけよう。	○	希望や要望など、やりたいことなど話し合える時間を作り、本人と不安な声かけることにより安心感が出る
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	電話など、連絡を取り合う		話を聞いてもらい、他にも、異常がみられる時は、家族に連絡を取る
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どのくらい、認知症があるか、本人は、どのくらいわかるかを聞いてみる		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活習慣など、お互い違ってくるので家族の情報をつかき取り、本人に伝える。		入所希望があった場合は、なるべく本人と家族に見学してもらいながら話し合い、希望があれば体験入所も行っている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	コミュニケーションを取り、散歩などをする。		コミュニケーションを取り、手をつないで接することにより安心感、笑顔(嬉しさ)の表情などが出る

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	心配ごと、悩みなど相談は 多い。 レクリエーションなどは、 （歌、ゲームなど） 楽しむ。	○	どのような生活なのか！利用者の 立場にたって考えられない
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に 努め、より良い関係が築いていけるように 支援している	病気、やが、日常生活で変化が ある時など、連絡など、こまめ にこす。		家族の方とも、面会に来た時 話を聞いてみる。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	利用者への家族や友人との面会 の際は居室にて、中、くりと過せる ように支援し、飲み物などを提供し ている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとり が孤立せずに利用者同士が関わり合い、支 え合えるように努めている	声かけ、散歩やレクリエーションなど 仲よく会話など、できるような積極も 入る。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継 続的な関わりを必要とする利用者や家族に は、関係を断ち切らないつきあいを大切に している		○	終了してしまつと、連絡がとれ なくなる。今利用者の方が元気な かどうかが聞いている。よいかと思 っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランなど立て、本人に出来ること・出来ないこと、興味がありそうなものなど探す。	○ いろいろと方話をし、本人の負担にたらない程度に進めたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族との連絡をとり、本人の様子を聞く。	○ 職員全員にわかるよう伝達し内容を把握する。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	いつもと違っていいか、顔つき、食事の量、排便など、どうか気をつけ、見るようにする	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ケアマネージャー、職員などで話し合いをし、本人に出来る負担にたらないようにする。(出来ること、やらせようなど)	○ 日々、変化するので、ケアプランを書きとり、記録として残したい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	問題行動が出た場合は、ケアプランにのせる。	○ 毎日変化していくので、ケアプランを取り、その人の変化をのりかきたいようにしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録など一日の出来事を記入している。	○	メモなど手帳の記入も行う
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の変化と見のかきずい 随時、家族へ連絡を取り、家族の要望を聞くようにしている。	○	利用者だけでなく、家族の現在の生活状況も把握した上での支援も考えていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	市の方から2-3か月1度訪問など見回りに来る。その利用者の方の様子を見に行く。		消防訓練など、全員でやったりボランティアの他にも歌や踊りなども楽しんでもらう。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	認定調査時又は、推進会議の時に他のケアマネジャーとの話しをする。機会があれば、サービス利用の支援は、している。	○	本人の意向、必要性が、あれば他のサービス利用の支援も考えていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働は、していない。	○	地域包括支援センターとのつながりは、これから取り戻していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	美野里病院 眼科、聴科、皮膚科などは、美野里病院への紹介の家族の方に連れっけてもらう。		協力医療機関以外の病院は、家族にお願いしているか。どうしても家族が無理の場合は、こちらで対応するつもり。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当医と密に連絡を取りながら症状に変化があれば、すぐに相談し、治療に迫りつつある。	○	認知症の講演や勉強会で、知識をえたい
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	連絡を取りあっているから様子を見る。(聞いたら)電話など	○	
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	美野里病院に連絡を取り調子がよければ体力、認知症も進まないうちに施設の方へ戻ってもらうつもり。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は速やかに家族、医師と話し合い、本人の希望、家族の意向を一番に考えたい。	○	看取りについては、行った事は無いが、これから、協力医療機関と相談の上、考えたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族に相談の上で、不安な事柄の事は、医師との連携の上で支援をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>今までは何人かの利用者の方が関連の老健に移る事があるがその際は家族と話し合いをして移る老健の職員にも情報交換をしている。</p>	<p>○</p>	<p>すべて家族、本人の希望のもと移り住む場所が変更できるように努める。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>強い口調や本人のいやがることなどはしない。 1ヶ月と1週間しかおいていない</p>	<p>○</p>	<p>職員一人一人が認知症を理解し利用者の生活歴をわかってあげて接しているように心がけている。 介護していく中で職員のケアも大事だと考える</p>
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>何かやりたいか？ どう思う？ みたいかを聞き出し、できる限りの支援をしている</p>	<p>○</p>	<p>利用者へ話を聞いてみる。何としたいか？ やりたいか？ わからなければどうするか？ レポートを通して、わかるようにしてあげたい</p>
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の決められた時間の中での生活のために、本人の希望にそって支援するのは、なかなかむずかしい</p>	<p>○</p>	<p>利用者の方も何をどう受け止めるのか、わからなければどうするか？ できる限り、有意義な生活を送れるように支援していきたい</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>店内で床屋さんに来てくれる。 2ヶ月に1回</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	美野里病院からメニュー決まってくるので、何かか好きなメニューのほうがいいか。おやつなどは手伝いの物などたいてい出る。		たかたか一緒に食事作りは、難しい、片づけては。時々やってみる、いい
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ、飲み物などは支援しているが、お酒、タバコなどは止めたい。	○	好みによ、おやつなどは、個室やフロアで好きな時間にお茶など出ると、よいかと思われ。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人は出来ない人が有動し見守り。毎日のパターンで時間をトイレに行くようにしている。		紙パンツ、パットなど使用しているが、失禁、かぶすなどの、6月から布パンツ対応と、利用者がいる
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の都合で曜日時間帯は決まっているが、出るタイミングなどは、その人によって配慮している	○	好きな時間や曜日など、出来ればやりたい
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その人の体質などで休んでもらう昼後は、休むとってもらう散歩や適度の運動をする		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ボウリングの方が入り、歌や踊りなど見て一緒に参加したいと申し出る	○	本人に出来ることとし、お手伝いしてもらえるようにしたい


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知度によらず管理が難しい利用者もいるが、本人を管理する人は、ホーム内の自販機やジュースを買ってあげている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や日光浴を園外に出す時は、あそび場に出かけるという形ではいかない	○	遠出や買い物など、本人希望のことで、連れていけるように考えたい
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	なかなか実地に移せず、近くの散歩と代わっている		家族の方が外出を希望される場合は、近くの観光の場所などを教えてあげている。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	相手の住所などを確認し、電話したりしている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自由に面会に来てもらい居室をお訪されたり、外出されたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所として、身体拘束は禁止であり、職員も理解しているが、事故防止の為に必要であれば、本人理解の上で安全ベルトを使用している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室などは、やはり開けてあるが 玄関は、帰宅願望の方がいるので 鍵がしめられている。	○	玄関の鍵をしめない事が望ましい 事は理解しており、鍵をかけた 方がいいか、安全を考えるとわか たか難しい
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	一人一人の状態を把握し けがのないように見守っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人管理では、心配だと思っただ 物品に気づけば、家族、本人の 了解の上で保管させているなど。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	薬の飲みかた等は、名前を確認 する。一人一人の見守りとし、転倒など 気を付けている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当のマニュアルは、あくまで 目につく所に置いてあるが、定期 的講習、訓練はしていない	○	医療機関への訓練をしていない くように協力をお願いしたい。講習 や講習を受けるように考えたい
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	6か月1度、消防署の方をよこして ら、避難訓練をしている。	○	避難訓練の時に近隣の方の 声かけし、一緒に出来るように 協力をお願いしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族が面会に来た際にも、病状や生活していく上でのリスクについて話し合っている。	○	家族とのコミュニケーションを今以上に持ち、話し合いの場を多く持つようにしたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体温、血圧などの測定し、病院へと連絡したり、サポートをおこなう。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の薬の成分を書き出しファイルに閉じてある。(個人ファイル)		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散歩や適度の運動、体操やボール投げなどしている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は、蘇果などで口をゆすぶる。入浴前は、洗剤で歯を洗う。また、歯磨き粉は、歯磨き剤を使う。また、歯磨き剤は、歯磨き剤を使う。また、歯磨き剤は、歯磨き剤を使う。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、毎回の水分量、食分量などを記入している。	○	利用者、ひとりひとりの摂取量、好みと把握し、支援していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	食事前や、外出から戻った時は、うがい、手洗いとし、消毒洗剤、殺菌剤を使用している。 インフルエンザの予防注射は毎年行っている		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は、関連医療機関の厨房から用意し、前日に取りに行くようにしている 用具は、毎日、終了後、消毒している。 調理中は、手袋を使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や犬がとけい、家庭的な雰囲気になっている。犬の散歩や近隣との交流を深めている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感や、わかるように玄関の花や行事など、元々の上など、月、日のわかる、日めくりカレンダーなど、利用者で作ったものをかいてある。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室を行ったり来たりする。 気の合った同士、おつたり何か見たいとか、ゲームや話し合いの場が持てる工夫がある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 <input checked="" type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	写真を飾り、生活しやすい 家族の方にも協力してもらう。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者がよく、仏壇も置 いて、家族の協力を 写真や若い頃に書いた絵などを 飾り付けている
84 <input type="checkbox"/> 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気 のよどみがないよう 換気に努め、温度調節は、 外気温と大きな差がない よう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っ ている	利用者の体温や調子に 合わせ、過度差のない ように配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 <input type="checkbox"/> 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの 身体機能を活かして、 安全かつできるだけ自 立した生活を送れるよ うに工夫している	段差はなく、すべての 廊下には手すりがつい ている。		
86 <input type="checkbox"/> わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力 を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮 らせるように工夫して いる	自分の希望がわかる ように花を飾り、テ ーブルには、シール を書いておく。		
87 <input type="checkbox"/> 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベラン ダを利用者が楽しん だり、活動できるように 活かしている	玄関前には、足か ぎを置いてあり、庭 には、花や草花を植 えて、観賞できるよ うにしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・静かで緑が多く、鳥のたぎいえが聞える
 ・職員と利用者で、歌を唱うのが、日課となっており、昔の歌や焼かしく歌うものが多い
 ・食事は、野菜、魚、肉、お米、お味噌も新鮮で、おいしく料理していると思う(利用者の方も満足している)